

一人ひとりを 大切にする社会の 実現のために

Each for All and All for Each

レポート
「事業」と「運動」についての報告書
2016年度版

倉敷医療生活協同組合

倉敷医療生活協同組合の概要

名 称 倉敷医療生活協同組合
所 在 地 倉敷市水島南春日町13-1
代 表 理 事 [専務理事] 谷 謙一
組 合 員 数 65,365人
出 資 金 1,690百万円
事 業 内 容 医療事業、福祉事業
事 業 所 病院3、医科診療所4、歯科診療所7、
訪問看護ステーション3、助産所1、
介護老人保健施設1、ヘルパーステーション1、
通所リハビリテーション4、通所介護1、
訪問リハビリテーション1、居宅介護支援事業所3、
地域包括支援センター1
事 業 高 10,202百万円

発行およびお問い合わせ

倉敷医療生活協同組合
総務部・健康事業部

〒712-8025 倉敷市水島南春日町13-1
Tel 086-444-4321 Fax 086-448-4150
E-mail soumu@kura-hcu.jp
ホームページ <http://www.kura-hcu.jp/>

発 行 日 2016年6月
報 告 期 間 2015年4月1日～2016年3月31日
次回発行予定 2017年6月

「レポート 倉敷医療生活協同組合」について、
みなさまのご意見をお寄せください。
上記メールかFaxにてお願ひします。

様々な人たちと力をあわせ
安心して住み続けられる
まちづくりをすすめます

倉敷医療生活協同組合の理念

私たちの思い

人が人として大切にされる社会をめざし
保健・医療・介護の事業と運動をとおして
様々な人たちと手をつなぎあい
平和とくらしを守り
健康で明るいまちをつくります。

当組合は、「いのちと暮らしを守る」事業活動や医療生協運動を2015年度も着実に前進させることができました。組合の事業と運動を支えていただきました皆様に心から感謝申し上げます。

2016年度は、組合理念を策定して10年目の節目となる年です。今日の政治状況の下、組合理念の実践を正面に据えて、「平和を守り、健康で明るいまちづくり」を組合運動の重点課題としとりくみます。

特に、この課題を推進する上で「様々な人々と力をあわせる」視点を重視することが大切です。そのためのキーワードは、「つながり（縊）」「連携」です。東日本大震災から5年目を迎えました。災害にも強いまちづくりにおいて、地域のつながりづくりが重要な要素の一つであることや、健康寿命の延伸と人と人のつながりの強弱との（因果）関係も報告されています。また、地域包括ケアシステムの下で、医療・

介護・在宅を結ぶ地域でのより密接な連携が求められています。改めて、事業活動でも組合運動でも理念に掲げた「様々な人たちと手をつなぎあうこと」を重視し、つながりを広げ、多くの人や諸組織との連携を一層強化してまいります。

皆様方のご助力を賜りながら、組合員、役職員が一丸となって、組合事業と運動の更なる前進に向けて邁進していきます。今年度も何卒宜しくお願ひいたします。

「報告書」では、2015年度の多岐にわたる私たちの事業と運動を報告しています。ご一読下さり、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

倉敷医療生活協同組合 理事長

清瀬 飛夫



医療連携の飛躍の年に

水島協同病院



進む医療機関との連携

水島協同病院医療連携室では、患者さんが円滑に診療を受けられるよう、地域の医療機関や開業医の先生方との連携を推進しています。

主な業務は、①病院や開業医の先生方から患者さんの紹介を受ける窓口(検査や受診の予約、入院や転院の連絡) ②広報活動(診療表、病院だより等の発送、講演会のご案内)などです。

他医療機関との連携では、水島地域の10医療機関の医療連携担当者で病院間の入退院の情報交換等をおこないながらスムーズに医療連携を進めていくことを目的とした連携ネットワーク会議の開催をおこなっています。その他、内科医懇談会、合同カンファレンス、ERCPの見学などをおこない、交流・連携を進めています。

また、患者さんの情報を共有し、スムーズに転院・療養をすすめるため、入院における紹介元病院への看護師訪問にも取り組んでいます。



水島地域連携ネットワーク会議



設置場所:水島協同病院外来棟1階

地域ガイドマップを作成

2014年春より、水島地域の連携ガイドマップ[°] (以下ガイドマップ) 作りを始めました。ガイドマップは、

- ①ガイドマップ作成を通して開業医の先生方との連携を深めること
- ②患者さんに、水島地域の医療機関と連携した医療を提供していることを知らせること
- ③患者さんのニーズをしっかり把握しながら逆紹介を通して水島協同病院の役割を果たしていくこと

を目標とし作成にあたりました。

水島地域の開業医の先生を訪問、ガイドマップ作成の協力をお願いし、2015年4月に外来棟待合室に念願の「水島地域連

携医療機関ガイドマップ」を設置しました。また、あわせて開業医の先生の個別紹介パンフレットをファイル形式で設置し、希望される患者さんへの配布もおこなっています。

ガイドマップ作成をとおし、地域の急性期病院としての役割を更に発揮できるよう体制と機能強化の飛躍を目指します。



開業医紹介パンフレット



ガイドマップ作成は、水島地域の多くの医院の先生方や医療機関のご協力がなくてはできなかったと思っています。ご協力いただいた先生方に感謝いたします。大いに活用し、これからもさらに地域の連携を強めていきたいと考えています。

(水島協同病院医療連携室)



病院も参加してすすめる 地域防災

玉島協同病院



2004年の台風16号による高潮被害（陸の孤島と化し、外来機能は一時停止）と、2011年の東日本大震災及び福島第一原発事故を経験し、病院の移転新築を決断しました。

「いつか訪れる南海巨大地震、その時に役に立てる病院になる」「医療機能をもった避難所をつくる」、そんな強い思いで、2014年12月に移転開院。それから1年数か月。思いを一つひとつ形にしていきました。

玉島西中学校区の 防災を考える会

移転2か月前（2014年10月）、「玉島西中学校区の防災を考える会」が発足しました。

行政や学校、地域の住民、地域の事業所・諸団体がもっている情報や助け合いの

力がどうなっているのか共有を進めていく場、それぞれの問題意識を自由に交流しあう場として「会」をすすめてきました（2016年4月現在5回開催）。

避難援助が必要な人の居所を把握するにはどうしたらいいか、知恵を出し合ったり（2015年1月/写真①）、玉島圏域7つの訪問看護ステーションの防災連携のとりくみ報告を受けて学習もしました（2015年6月/写真②）。

防災講演会～住民といっしょに～

「会」の中で、地域の住民が参加できる防災講演会が提案され、防災月間にあわせて中学校区内の玉島南小学校体育館にて開催しました。岡山理科大学・西村敬一

先生を招き、最新の知見に基づく巨大地震と津波の実相を学びました（写真③）

玉島西中学校は、津波を想定した避難場所として玉島協同病院を定め、当院の敷地で避難訓練を行いました（写真④）。

移転後初の消防訓練 マニュアル整備～病院のとりくみ～

移転後初の消防訓練は、春の火災予防週間にあわせて実施しました。消防署や地元の消防団との合同訓練となりました（3月25日/写真⑤⑥）。近接する幼稚園から園児も見学に来ました。

2015年夏、台風で避難準備情報が発令されたとき、近所のお年寄り夫婦が病院へ自主避難しました。連携する高齢者施設

からは、万一に備え医療度の高い入所者の入院要請がありました。これを機に、災害に強い病院として、避難受け入れマニュアルを整備しました。今後の課題としては、当初からの目標である、地域共同の防災訓練の実施をめざし、防災つながりマップづくりなどにとりくむこととしています。

病院に対する地域の期待は非常に大きいものがあります。それは、医療・介護の専門技術にとどまらず、病院が存在することによる住民の安心感であったり、地域の旗振り役としての期待だったりします。

これからも、常に地域の声に耳を傾けながら、災害に強いまちづくりに取り組んでいきます。



組合内のネットワーク

在宅生活を支える 組合内のネットワーク

倉敷医療生活協同組合は地域で安心してその人らしく暮らせるよう、在宅医療・看護・介護サービスを提供しています。1979年より、取り組みを本格的に進め、現在では月1,000人以上の在宅生活を支えています。また、地域の医療機関、介護・福祉施設との連携・協力も強めて、総合的・継続的な対応を進めています。

●訪問診療



通院が困難な方のお宅へ訪問診療をおこなっています。「自宅で暮らしたい」という思いに寄り添い、住み慣れた自宅での治療をサポートしています。患者さんや家族の訴え、要望を聞き、服薬チェックや指導などをおこなっています。

●訪問介護

身体が不自由であっても、自宅での生活を希望する高齢者の方が安全に暮らしていくために支援をおこなっています。食事・入浴・排せつなどの身体介護や、掃除・洗濯・調理などの生活支援等多岐にわたっておこなっています。コミュニケーションを重視し、いきいきと療養できるようお手伝いいたします。

●訪問看護



病気や障がいのために在宅療養の支援を必要とする方に対し、看護師などが訪問し看護ケアの提供をおこなっています。心身の特性を踏まえて、具体的な日常生活動作の維持・回復を図るとともに、生活の質の確保を重視した在宅生活が維持できるよう支援しています。

主治医やさまざまなサービス事業者と連携し訪問看護に取り組んでいます。



●訪問リハビリテーション



可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるように、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などが自宅を訪問し、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けたリハビリテーションをおこなっています。

●通所リハビリテーション



介護保険で要介護・要支援状態と認定された方が、可能な限り自宅で日常生活ができるよう、各種リハビリテーションをおこなっています。その人、一人ひとりにあった機能訓練、自宅から施設までの送迎、希望される方の入浴、食事の提供をおこなっています。手作業やレクリエーションをはじめ、季節の行事にも取り組み楽しみながらリハビリテーションをおこなっています。

●歯科往診



倉敷医療生協7つの歯科診療所で歯科往診をおこなっています。往診先は在宅、老健施設や特養施設、一般病院等多岐にわたります。診療内容は、抜歯や義歯の作製・修理・調整が最も多く、他に虫歯の治療、歯石取り、口腔ケアなどをおこなっています。

●通所介護

介護保険で要介護・要支援状態と認定された方に必要な介護サービスを提供します。体操や機能訓練、趣味活動に取り組むなど心身の活性化を図っています。食事の提供、入浴サービスなど日常生活の支援もおこなっています。

●居宅介護支援事業所

住み慣れた地域で今までどおり生活しているよう、専任のケアマネージャーが支援いたします。心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整をおこなっています。

組合内のネットワーク

いのちの ネットワーク

1953年にスタートした倉敷医療生活協同組合は現在、水島協同病院、玉島協同病院、コーパリハビリテーション病院の3つの病院をはじめ、医科診療所、歯科診療所、介護・福祉施設、助産院などいのちのネットワークを形成し、地域のひとびとがいつでも安心してかかる医療を提供しています。

病院病床数

病院病床数	一般	270
	医療療養	133
	回復期リハビリテーション	48
	地域包括ケア	8
	障害者施設等	60
	病床数計	519
	老人保健施設入所定員数	83

CHECK!

- 歯科用ユニット数 102台
- 歯科用CT 4台
- デジタル3D切削加工機他最新鋭機種多数
- 子ども歯科～訪問歯科まで
安心・安全の歯科医療を提供
- 年間インプラント症例数 506本
(2015年実績)

病院



玉島協同病院

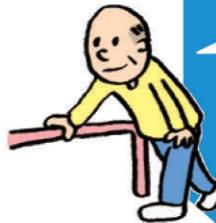
急性期・医療療養病院
強化型在宅療養支援病院

病院



コーパリハビリテーション病院

回復期リハビリテーション病院、医療療養病院



移転新築完成予定図

医科 診療所



水島ふれあい診療所



水島南診療所



コーパくらしき診療所



阿新診療所



総合 病院



水島協同病院

急性期病院



歯科 診療所



水島歯科診療所



玉島歯科診療所



高梁歯科診療所



阿新歯科診療所



児島歯科診療所

介護・ 福祉施設



老健あかね



デイサービスセンター
レインボー



ヘルパーステーションさざなみ、
水島・玉島・阿新虹の訪問看護ステーション、
水島高齢者支援センター、
水島・玉島・阿新居宅介護支援事業所

CHECK!

コーパリハビリテーション病院は、2016年度(予定)に新しく生まれ変わります。移転新築予定地は、水島臨海鉄道水島駅前(住所:倉敷市水島東千鳥町)です。病院へのアクセスは、水島駅より徒歩1分となります。

地域で絆を深める医療生協へ

高齢者だけでなく、若い世代にとっても孤独が大きな生活上の困難となっている現在、気軽に足を運ぶことができる居場所づくりは、人と人とのつながりによって成り立つ生活協同組合の重要な活動です。医療生協は、19支部・28箇所でさまざまな助け合い活動を行っています。

長寿の秘訣を
聞くつどい



サロン青葉会



五軒家ほっとカフェ

～町内会と協力して～ 二福支部

町内にあった八百屋や酒屋などのお店がなくなり、町内主催の秋祭りやカラオケ大会も中止になりました。会っておしゃべりする機会が減り、「集まっておしゃべりする場がほしい」。そんな住民の声に後押しされ、町内会と協力してカフェが誕生。毎月のニュース（当月の報告と次月のお知らせ）は市の広報紙といっしょに、町内の班ルートで全230世帯に届けられます。カフェでは、住民が得手を活かして講師になることもあります。



理学療法士による転倒防止・腰痛予防体操

大島いきいきサロン

～まちづくり協議会と協力して～ 笠岡支部

地域のまちづくり協議会に参加し、諸団体といっしょにまちづくりをすすめています。

大島いきいきサロン（毎週開催）にも医療生協として参加。健康チェックを担当し、年に何回かは健康体操や医療講話も担当します。



毎週楽しみな百歳体操

福田いきいきサロン

～生活の場で百歳体操～

二福支部

医療生協の班として、たまり場を活用して活動していました。地域に開けた内容に、そして歩いて参加できる場所で開催しようと、近くの公民館で住民にも呼びかけて開催することにしました。百歳体操は大変好評で、1月半ばから毎週開催しています。



「よくわかった」(介護保険制度についての学習)



地域のサロンと協力して

児島西支部

団地内にある地域の楽遊サロン。組合員もたくさんいてサロンに参加。年12回開催されるサロンのうち1回は、医療生協が企画運営することになっています。2月度の例会は30人の健康チェックをして、介護保険制度についての学習会、そしてビンゴゲーム。学習会は、大変よくわかったと好評でした。

地域住民の福祉増進のため 行政等との連携を深めて

倉敷医療生協は、行政や地域の諸団体と連携して、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりをすすめています。



2016年2月倉敷市

健康づくり自治体懇談

~西部7市3町と毎年~

健康づくり自治体懇談は、支部のある7市3町（県西部）で毎年行われています。組合の健康づくりのとりくみ、自治体の健康づくり事業、健診の実施状況など共有し、協力できることを考えていく場です。



備中玉島みなと朝市

備中玉島みなと朝市

~地域の諸団体と協力して~

地元の商店街が中心となり、まちおこしの「朝市」を開催することになりました。玉浅ブロックでもこのとりくみと協同して健康づくり（チェック）をすすめることしました。毎月第3日曜日は、幅広い年齢層でにぎわい、そこに医療生協の姿があることに喜びを感じます。



WHO4.7世界保健デー

~まちかど健康チェック~

組合は、WHO（世界保健機関）や厚生労働省が行う全国的なイベントに呼応し、まちかど健康チェックを実施しています。4.7世界保健デーでは、倉敷市と共に開催されています。昨年もアリオ倉敷で行い、多くの市民がいろいろなチェックを受けました。歯科チェックや血管年齢測定は特に好評でした。



かめのこサロン

オレンジカフェ

~地域包括支援センター (高齢者支援センター)と協力して~

住民（組合員）が協力して、（水島）亀島町（旧デイサービス施設を活用）にてオレンジカフェ（かめのこサロン）を開始しました。



歯みがき集会

歯みがき集会

~保育施設で~

倉敷市連島の保育園にて初めての「はみがきしゅうかい」。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の3名が参加して、歯の大切さを訴える人形劇、歯みがき指導を行いました。園児から歯科医師への質問も飛び出し、楽しい集会となりました。

ミニ健康展・文化祭・ 健康まつり…

2013年度から医療生協も深くかかわってきた（玉島）南浦地区のミニ健康展。2015年度は、玉島の黒崎や富田地区にも広がりました。穂井田地区文化祭にも参加しました。

また、玉島健康まつりでは、地域包括支援センターや社会福祉法人、NPOなど8団体が参加しました。初めて単独でとりくんだしらかべ支部の健康まつりは、準備段階から愛育委員が参画し、コミュニティ協議会、社会福祉協議会、商店街振興連盟などの協力があり、他団体との連携が大きくすすみました。



南浦地区ミニ健康展



玉島健康まつり



富田地区ミニ健康展



穂井田地区文化祭

学び、体験し、実践



原発いらない 再稼働やめて 倉敷金曜アクション

► 東日本大震災と福島第一原発事故から5年を迎えました。いまだ汚染された地下水は流れ続け、収束のめどすら示せないでいるのが現状です。「さようなら原発倉敷金曜アクション」も4年続けてきました。187回目を数える2月19日には50人が参加しました。陽が落ちて暗くなった倉敷駅前には、灯籠やろうそくの光が輝き、ギター演奏や歌、手作りケーキを配っての楽しい宣伝です。



► 玉島浅口ブロックが主催した「WHO健康ウォークin寄島」は、毎年取り組まれているウォーキングに加えて、保健大会や玉島協同病院健康講座で学習した「健康寿命を延ばす正しいウォーキング」の実践と、「地域の公共交通であるバス路線を守る」という2つの取り組みを合せた企画としました。8支部から30人の参加があり、日頃あまり顔を合わせることのない方が一緒に語り合いながら、「健康づくり」と「まちづくり」の活動を楽しむことができました。

WHO健康ウォーク
in 寄島が大盛況

長島愛生園 人権学習

► 倉敷南支部では「長島愛生園での人権学習」を企画し、19人が参加しました。「らい予防法」の廃止、国家賠償訴訟の和解等で人権回復はなされましたかが、偏見と差別の目は患者のみならず家族まで巻き込み、納骨堂には今も故郷に帰れない約3500柱の遺骨が眠っています。この現実を皆さんのお目と心で、直に感じていただきたいと思います。



延ばそう健康寿命 保健大会で「セーフティ・ウォーキング」



► 保健大会は1年間の保健活動の集大成の場、組合員と職員が日常の活動を学び合う交流の場、医療や介護・保健予防の学習体験の場です。

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を防ぐ方法として、簡単かつ有効な方法は“歩くこと”、いわゆるセーフティ・ウォーキングです。

今回は、土井龍雄先生（ダイナミックスポーツ医学研究所副所長）に、「歩行寿命を延ばす歩き方！腰痛や膝痛を防いで元気に歩き続ける」をテーマに、記念講演をしていただきました。

総社鬼の城ハイキング



► 倉敷ブロック健康づくり委員会では4月28日に「鬼の城ハイキング」を企画し、23人が参加しました。日頃から登山をしている方、誘われてなんとなく参加された方、ちょっと体力に自信がない方など様々でしたが、さわやかな春空の中、全員で無事に歩き切りました。今回ハイキングをした鬼の城コース（約4km、1時間半）は、鬼の城ビターセンターから鬼ノ城西門、北門、礎石住居跡、第2展望台、東門、水門跡、南門と廻って西門に戻ってくるコースです。

新見60代のつどい

► 新見ブロック主催「60代のつどい」を、朋友館（新見市高尾）で開催し、組合員24人が参加しました。

新たなつながりをつくる目的で、「60代の健康づくり」をテーマに開催。

健康運動指導士（管理栄養士）の健康講話と水を入れたペットボトルを使っての実技や健康チェック、交流、医療生協の紹介をおこないました。



ちょっとした工夫でびっくり 各地で「すこしお」活動

► 今年は5年に1度の24時間蓄尿塩分量の全国調査の年でした。厚生労働省の塩分摂取目標量は、男性8g未満、女性7g未満と設定されていますが、全国の平均値は9.8gとなっています。医療福祉生協では6g未満の摂取量を目標に、「少しの塩分」で「すこやかな生活」を合言葉に、各地で「調理法による工夫」や「素材の味を生かした工夫」を学んで・作って・実際に味わって、という学習が取り組まれています。



NPTニューヨーク行動報告 想いを繋げる署名

► 4月25日～5月2日、NPT（核不拡散条約再検討会議）ニューヨーク行動は、濃密で感動に満ちた1週間でした。つたない英語でニューヨーク市民に呼びかけた署名行動、世界中の平和活動家との連帯を感じたピースパレード、ハマーショウルド広場での署名提出に立ち会えたことなど、様々な活動や報告を通して、市民運動の力を実感しました。



玉島北支部の「すこしお」調理実習

一人ひとりを 大切にする社会の実現のために *Each for All and All for Each*



谷謙一 専務理事

組合理念実現をめざす組合運動の指針
(案)について谷謙一専務理事に聞きました。

2016年は、理念を確定して10年目の節目の年です。理事会は、この理念実現に向か、今後、組合運動を進める上で3つの重点を「指針」として提起しました。

様々な人たちと手をつなぎあい、 まちづくりに参加します

一つ目はまちづくりの取り組みです。老々世帯化、独居世帯化が進行し、「自己責任論」のもと孤立化も進行しています。人と人とのきずなの喪失、経済格差、貧困と健康破壊、貧困の連鎖など地域で抱える問題は多岐に及びます。

自治体や地域では、地区社協・地域包括支援センターを中心に地域の支え合いの活動が大きく前進しています。

組合は、これらの活動と連携し、高齢者支援、生活困難支援、子育て支援等様々な課題に挑戦します。認知症や障がいをもつた人たちも、ともに安心して住み続けられる地域づくりをめざして、①つながりマップづくり、②居場所づくり、③生活圏域での支部活動・支部づくりに取り組んでいきます。

健康づくりのとりくみをつよめます

二つ目は健康づくりの取り組みです。岡山県の平均寿命と健康寿命(日常生活の制限のない期間)を比較すると、大きく開きがあります。

健康づくり・居場所づくりは、介護予防や健康寿命の延伸、認知症予防に効果があると言われています。

組合は、ヘルスチャレンジ・健康チェック・生活習慣の普及など、運動や食事、参加と交流、居場所づくりなど、健康づくりによる介護予防や健康寿命の延伸を意識したとりくみを強めていきます。

平和とくらしを守ります

三つ目は平和とくらしを守る取り組みです。昨年は、平和と民主主義をめぐって、大きく世論が揺れ動きました。またくらしの面では、今後も「貧困と格差」が広がり、「医療難民」「介護難民」をはじめ、困難をかかえる人々が多く生まれると想定されます。当組合の理念は、日本国憲法の精神を、より豊かに花開かせることを目的としたものです。いのちとくらし、平和を守る活動を一層強めていきます。

事業所マップ



- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1 総合病院水島協同病院
倉敷市水島南春日町 1-1
TEL 086-444-3211 | 5 阿新診療所
新見市新見 741
TEL 086-72-8701
阿新虹の訪問看護ステーション
TEL 086-72-7370 | 9 水島歯科診療所
倉敷市水島南春日町 11-20
TEL 086-444-8211 | 14 高梁歯科診療所
高梁市中原町 1453-1
TEL 086-21-0840 |
| 2 玉島協同病院
倉敷市玉島柏島 5209-1
TEL 086-523-1234
玉島虹の訪問看護ステーション
TEL 086-523-0207
ヘルバーステーションさざなみ
TEL 086-525-3373 | 6 阿新歯科診療所
新見市新見 736-2
TEL 086-72-8700 | 10 コープくらしき診療所
倉敷市宮前 384-1
TEL 086-434-8000
コープくらしき歯科
TEL 086-434-8020 | 15 さくらんぼ助産院
倉敷市水島南春日町 2-28
TEL 086-448-1103 |
| 3 コープリハビリテーション病院
倉敷市水島北春日町 4-3
TEL 086-444-3212 | 7 水島ふれあい診療所
倉敷市水島南春日町 13-14
TEL 086-440-4710 | 11 玉島歯科診療所
倉敷市玉島柏島 5418-4
TEL 086-522-6115 | 16 デイサービスセンターレインボー
倉敷市連島 1 丁目 7-27
TEL 086-448-4877 |
| 4 老人保健施設 老健あかね
倉敷市水島北春日町 4-3
TEL 086-446-6541 | 8 水島南診療所
倉敷市水島東千鳥町 2-10-109
TEL 086-444-9305 | 12 真備歯科診療所
倉敷市真備町川辺 2095-1
TEL 086-698-6523 | 17 倉敷医療生活協同組合
倉敷市水島南春日町 13-1
TEL 086-444-4321
水島虹の訪問看護ステーション
TEL 086-440-4688
水島高齢者支援センター
TEL 086-446-6511 |
| 13 児島歯科診療所
倉敷市児島駅前 1-53-3
TEL 086-474-5931 | | | |